



作業は、深坂茶屋駐車場の崖上の斜面、臨時駐車場の奥、森林組合の下の草刈。中学生3人は崖上の斜面の草刈に参加。その後、平野

例年なら8月は作業は休みだが、今年は、市内の名陵中学校の生徒からボランティアに参加したいという申出があった。これを聞いて喜ばないはずがない。維持管理部会は急遽8月11日に臨時作業を行うこととした。中学生3名を含む17名が参加。



一汗かいた後の弁当



深坂茶屋上の斜面で草刈り

季節外れの寒さと雨の中、どれだけ盛上がれるかが験されたが、まずはモチツキで景気を付けてくれた。

テラスではモチツキ



勝山会の少年少女による平家太鼓

子ども達の真剣で勇壮なパフォーマンスに、会場は静まり返つて聞き入った。盛大な拍手が聴衆の感動を物語つていた。

30分ほどで無事閉会。体操の後、定例作業を行った。この日は邪魔枝整理作業を行った。会計報告と活動報告は、25年度会員数、団体会員14名・個人会員110名・賛助会員165名。

3頁に掲載。また、さくら友の会のホームページ山口県NPO法人データベ

ースなどを参照ください。

さんの引率でもみじ谷を見学。猛暑の中の作業の為、何時もより少し早めの11時で作業終了し、全員で恒例の弁当を楽しんで11時30分頃に解散。中学生寄稿の感想文は4頁に掲載しています。

さくら新聞

発行者：NPO法人
下関深坂さくら友の会
下関市安岡町1-8-3
TEL:083-258-0143
FAX:083-258-5910
<http://yasuokac.sakura.ne.jp/sakura>
Eメール: misaka.sakura@arrow.ocn.ne.jp

第6回深坂さくらえ
— 4月7日 —

初めての荒天だ。開会式は室内で行われ、下関市長自ら出席し、祝辞がのべられた。引き続き、今年植えられたオーナー桜の市への贈呈式が行われた。



维新の会のブラスバンド例年は屋外での演奏だが、今年は天候のせいでの室内で聞くことになった。力強く響いて、格段の迫力の違いを感じた。アンコールは東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」。

下、第8回総会を開いた。出席人数35名。この時期が悪くなる。日差しが強く、途中から日陰に避難。事業報告、活動決算報告が行われた。出席人数35名。この時期が、今年は天候のせいでの室内で聞くことになった。力強く響いて、格段の迫力の違いを感じた。アンコールは東日本大震災復興支援ソング「花は咲く」。

5月12日 定期総会

今年は、平安朝以来の暑さだとまじめな顔をしていました。千年前に温度計があつたのか？文書による記録ではないが、記録はあるらしい。木の年輪の幅や、氷床に含まれる大気の組成などから推定された気温ということになる。気象の世界では「中世温暖期」と呼ばれ、北極海なども今より海水が少なくて、バイキングなどが活躍した時代です。現在は陸氷に覆われているグリーンランドも、実際に緑の大地で、氷の下からはワイン作りの道具なども発見されている。だからグリーンランドと名付けられた？日本でも、宮中（京都）でお花見が行われた日時（サクラの満開）から、現代よりも気温が高かったのではないかと言われている。兼好法師も「徒然草」で「家の造りようは夏をむねとすべし」と言っている。周囲に池を廻らした神殿造りの庭園は、暑さの対策でもあつたらしく。それに比べ、近代都市は夏のことが頭にないようです。（TIDA HPから引用）